

排水管清掃作業従事者研修カリキュラム例

1 カリキュラムの考え方

- (1) 7時間以上を確保する。
- (2) 科目ごとの講義時間は、研修内容により適切な時間を設定する。
- (3) 2年目以降のカリキュラムは、カリキュラム例から取捨選択し、設定する。

2 1年目カリキュラム

研修科目	研修内容	時間
機械器具の種類と使用方法 －点検診断・検査－	点検診断・検査の目的と用語の定義／清掃業務と点検診断・検査／点検診断の対象と項目／点検診断方法と評価基準／検査の項目・方法・評価基準	60分
機械器具の種類と使用方法 －清掃実務－	排水管洗浄の対象範囲と用語の定義／排水管洗浄方法／排水器具・器具排水管の洗浄方法／高圧洗浄の作業方法／高圧洗浄の原理／高圧洗浄装置／排水管の清掃 ※必要に応じて実技訓練を行う。	120分
安全及び衛生	排水管清掃作業における労働安全及び関係法令／衛生管理及び関係法令／トラブル事例と対策	60分
建築物の環境衛生行政	排水設備衛生管理の意義と適用範囲／関係法令／排水設備の機能維持項目／排水設備の特性と清掃／排水管設備衛生管理業務の概要と清掃周期	60分
作業従事者の責任と任務	作業従事者の自覚／作業上の注意事項／作業マネー	60分
排水設備概論	排水設備設計・維持管理の基本事項／排水不良、管閉塞の原因と特性	60分

3 2年目以降カリキュラム

研修科目	研修内容	時間
機械器具の種類と使用方法 －点検診断・検査－	排水管調査の方法と報告書の作成事例／内視鏡最新機器の現状及び使用方法	90分
機械器具の種類と使用方法 －清掃実務－	機械的洗浄方法（高圧洗浄方法、ワイヤ式、圧縮式、ロッド式の使用方法と注意事項）／化学的洗浄方法（アルカリ性洗浄剤、酸性洗浄剤の使用方法和注意事項）／ディスポーザ付マンションと一般マンションの清掃方法と注意事項 ※必要に応じて実技訓練を行う。	150分
安全及び衛生	1年目カリキュラムの同科目に同じ。	60分

上記科目は必修、他は以下のカリキュラムから選択する。

建築物の環境衛生行政	1年目カリキュラムの同科目に同じ。	60分
作業従事者の責任と任務	1年目カリキュラムの同科目に同じ。	60分
排水設備概論	1年目カリキュラムの同科目に同じ。	60分
排水槽及びグリース阻集器の清掃方法概論	排水槽及びグリース阻集器の維持管理方法／廃棄物の適正処理／トラブル事例と対策	60分
業務管理一般論	機械的洗浄方法及び化学的洗浄方法における事前作業及び事後作業の重要性／標準作業仕様	60分